

事務事業名	広報事業				担当	総合政策部 秘書広報課 広報広聴係			
政策名	7	「行政経営づくり」～効率・効果アップ!～				<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業)	<input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業)		
施策名	2	開かれた市政の推進				<input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業)	<input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市DX戦略計画 真岡市地域防災計画 真岡市地域福祉計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市広報紙発行規定、真岡市ホームページ管理運用要綱					<input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 昭和29 年度～)			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	3.広報費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
予算科目									
事業概要	広報紙「広報もおか」「市政こよみ」「ウイークリーニュースもおか」の編集発行 市ホームページ・ツイッター・LINE、市公式アプリの管理運営 ケーブルテレビ行政情報番組の制作協力(いちごチャンネル協働) コミュニティFMによる市政情報の発信(FMもおか委託) 市役所本庁舎内デジタルサイネージの運営 上記メディアによる迅速かつ効率的・効果的な市政情報の発信								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移							
5年度実績 ・ 広報3紙の発行(市政こよみの改善について検討し令和6年4月よりリニューアル) ・ 市ホームページ・ツイッター、市公式アプリの管理運営(「真岡市ホームページ改善実施要領」を定めページタイトル・カテゴリの改善や情報品質の向上を図るため研修会・相談会を実施した。) ・ いちごチャンネル「JUMP UPもおか」制作協力 ・ FMもおかによる行政情報番組の制作・放送(業務委託) 6年度計画 ・ 広報3紙の発行及び今後の在り方の検討 ・ 市ホームページ・ツイッター・LINE、市公式アプリの管理運営・改善(市ホームページの情報発信力強化を図る職員研修等を重点的に実施) ・ いちごチャンネル「JUMP UPもおか」の制作協力 ・ FMもおかによる行政情報番組の制作・放送(業務委託)		名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
		ア	広報もおかの発行部数 / 1回		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		イ	ウイークリーニュースもおかの発行部数 / 1回		30,200	30,200	30,200	30,300	21,000
		ウ	市ホームページの年間更新件数		4,066	5,318	3,239	3,901	5,000
		エ	ケーブルテレビの行政情報番組年間放送時間		1,064	1,064	1,064	1,064	1,064
		オ	FMもおかの行政情報番組年間放送時間		111	296	296	296	296
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移							
市民		名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
		ア	真岡市の世帯数(翌年度4/1現在推計)		30,581	30,079	30,717	30,717	31,086
		イ	市公式アプリダウンロード総数(年度末)		-	5,515	6,084	7,139	8,000
		ウ	市ホームページの年間総ページビュー数		4,122,671	3,981,136	2,973,770	3,093,135	3,150,000
		エ	ケーブルテレビ加入世帯数		5,096	5,302	5,238	5,411	5,500
		オ	FMプラブラのFMもおか登録件数(年度末)		4,504	9,800	21,747	26,841	30,000
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移							
市政情報の発信による開かれた市政の推進		名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
		ア	市民の情報入手方法 / 広報もおか		74.9	76.5	79.9	77.1	80.0
		イ	市民の情報入手方法 / FMもおか		10.1	12.0	20.2	26.6	25.0
		ウ	市民の情報入手方法 / 市HP		23.2	30.6	27.0	25.2	30.0
		エ	市民の情報入手方法 / ケーブルテレビ		9.4	10.8	10.5	10.4	15.0
		オ	市民の情報入手方法 / FMもおか		3.5	5.0	6.7	4.5	10.0
(2) 総事業費の推移		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	24,800	24,841	
	一般財源	千円	41,098	61,909	64,652	44,136	42,827		
事業費計(A)		千円	41,098	61,909	64,652	68,936	67,668		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 近年における市政情報の発信手段は、従来の紙媒体、ホームページ、ケーブルテレビに加え、Twitter、LINE、インスタグラム、FMラジオなど多様化している。そのため、各種メディアの特性を生かしながら迅速かつ効果的に市政情報を発信するこの事業は「開かれた市政の推進」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 市政情報は広く公平・公正に周知する必要がある、その編集及び発信は市が行うべき事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 対象はすべての市民であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 「真岡市ホームページ改善実施要領」を定め、全庁的に「発見しやすさ」、「把握しやすさ」、「情報品質の向上」の3つを軸としてホームページの改善を進めた。特に「発見しやすさ」と「情報品質の向上」の具体的な内容や好事例などを追記し令和6年3月に情報発信ガイドラインを改定した。今後は、職員全体における情報発信力を強化し、全庁体制でホームページの改善に取り組む必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: シティブロモーション事業) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 広報広聴係や各課で撮影した画像や制作したイラスト等はすでに共有しており、可能な限り連携を図っている。しかしながら、業務の進め方については、広報広聴係は真岡市民を対象に情報を発信する業務が中心であるが、シティブロモーション係は事業ごとに対象が異なり、その範囲は市外・県外まで含まれるため性質的に異なる。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) SNSをはじめ情報発信のメディアは多様化しているため、公式ホームページを軸として公式アプリや各種SNSにより、対象者や内容により情報媒体を選択し、紙媒体の削減について検討していく必要がある。取材・編集・校正等については最小限の人員で行っている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 ホームページについては、「市民の知りたい情報を分かりやすく」伝えるため、改善を継続する必要がある。紙媒体の広報誌のあり方について検討していく。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 「真岡市情報発信ガイドライン」をすべての部署に定着させ、「発見しやすさ」、「把握しやすさ」、「情報品質の向上」の3つを軸として改善を継続していく。各部署が所管しているホームページについて、ページ・カテゴリ構成を改善するための個別相談会を実施し、改善方法を提案・支援していく。また、紙媒体の広報3紙について、その役割や配布方法について他のメディアとの連携や分担も含め検討していく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							